



2019. 1. 1



# 九条の会・へぐり

ニュース NO.49

事務局 吉川平一 宅

三里 591-3

Tel 45-0896

m-ad yoshikawa62ml@kcn.jp

## 賀 正



(緑ヶ丘 四方温子)

改憲の 声おしとどめ 辻々の

獅子地に踊り 碧空に舞う (T)



## 映画「明日へ」を観て

( 山田 修 )

国会前の抗議を観た老落語家の回想から始まった。

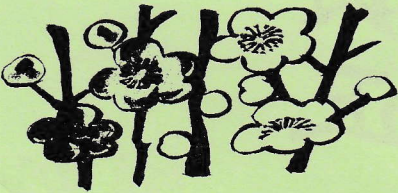
1932年(昭和7年)は、中国への侵略戦争から始まり、日本が太平洋戦争へと向かう戦争高揚、戦時色真ただ中の時代だった。老落語家の少年時代がまさにその時代だった。

落語の好きな少年は、父親に落語を反対され、説得するために連れて来られた良善和尚に、逆に、やってみろと勧められる。この少年期にともに過ごした知恵遅れの友人がこの映画の重要な役割を担っている。

純次少年が落語家となり、20歳を迎え、出征を前にした時、これまで戦争協力者だった和尚が突然「戦争は罪悪だ。人類の敵。純次よ人殺しはするな」と皆の前で語る。そして檀家や宗門から避けられ、特高に逮捕追及されながらも戦争反対を続けた。この良善和尚の変化の原因は何だったのか。随所に感動の涙が流れる。

現在の安倍内閣は、戦争ができる国づくりを着々と進めている。民意を無視し、強権むき出しの辺野古への土砂埋め立ても根は同じだ。この時期にこの映画の持つ意味は大きい。

蛇足だが、良善和尚と同じく反戦僧侶の父を持つ、その子どもが植木等だったことを知って驚いた。



## アベの悲願“9条改憲”を阻みつづける

3000万署名の巨大な力

( 福島 勲 )

私たち9条の会へぐりは、昨年秋から、安倍9条改憲NO!全国市民アクションがよびかた3000万署名にただちに取り組んできました。町文化祭でのアマゴの塩焼き、9条風揚げ大会、川口真由美コンサートなどの行事と合わせて、憲法学習会、5・3ピースウォーク、毎月19日の道の駅スタンディング宣伝、そして信貴山寅まつり・時代まつり・町盆踊り・道の駅での署名行動などです。

風揚げで中央公園のベンチで若いお母さんが「子供のために」と言って気軽に署名してくれました。信貴山開運橋では、カップルや家族連れが「戦争はアカン」と応じてくれ、盆踊り会場では「戦争と核兵器には反対します」と若い人も協力してくれました。同時に「未だ良く分からない」「憲法は変えなアカン」「北朝鮮・中国が危ない」などの声が「無関心」とともに少なくないことも現実です。

次ページに続く



## 投稿

### ふるさとのお正月

#### 宝物のような時代

( 稲田英子 )

私は戦後のベビーブームの時代に広島県の久井町と言う、山に囲まれた田舎で生まれました。合併で今は三原市になっています。小学校2、3年生ごろのお正月と言えば、年末まで両親が日雇いで稼いだお金を持って、三原の町までバスで行き、正月の服や下着など買ってもらいました。大晦日にはラジオで紅白歌合戦を楽しみながら、除夜の鐘が鳴ると、5人の子供は真新しい下着に着替え、タビをはき、稲生神社へ初詣に行きました。父のカンテラの灯りをたよりに霜柱が立つ道をザクザクと音を立てながら歩いて行ったものです。母は、正月だけは少し派手な着物を着ていました。白い割烹着姿の母はとても美しく見えて、娘の私はうれしかったのを覚えています。おせちなど特別な料理などなく、おもちや甘酒、干し柿などで十分満足でした。質素でも、家族全員そろってお正月を過ごしていた時代がとても懐かしく、また、そういう時代を生きたことが、私には宝物になっています。



### 日本昔話のようなお正月

#### 一度きりの不思議な体験

( 奥村妙子 )

小学校6年生の冬休み、お正月を淡路島の祖母宅で過ごした。

元日の朝、お供えの酒と米を持ち、祖母は3人の孫を連れて、山奥深く（その時はそう思った）分け入って、雑木林の奥に祭ってある祠の神々にお参りをしてまわった。それはお地藏さんだったり、お狐さんだったり、白蛇さまだったりした。祖母はなにやらブツブツと口の中で唱え、あとは無言で山の道を歩いた。私達は初めての体験に恐る恐るついて歩くだけだった。いつも、おしゃべり、喧嘩の絶えない姉妹だったが、その時はただ黙々と従った。帰り道、山から下りる視界の先は、高く昇った陽にキラキラと輝く海だった。その時初めて息を吸ったような心地がした。

大阪での正月と言えば、除夜の鐘が鳴ると、おとそを祝って、あとは昼まで寝てしまう大人たちを起こさないように、子どもたちは、カルタやバドミントンで遊び、夜はと言えば、親戚が寄って夜遅くまで宴会、次の日は心斎橋へ買物に行ったり、超満員の映画館へ行ったり、といったお正月を過ごしていた私達にとって、まるで昔話の世界のような不思議なお正月であった。





署名は現在(12/1)町全体で5000筆の目標に対し3500筆(70%以上)を超えており、全国的には1900万筆(県9条の会ニュース)に達しています。世論調査ではどの調査でも国民の多数が改憲や自民党案の国会提出を望まず反対しています。そして戦後70年以上、自衛隊員が海外で一人も殺し・殺されなかった憲法9条の「平和の力」が国民の中に深く定着しています。

これらの背景には、私たちの取組を含めた「戦争法」廃止2000万署名から改憲阻止3000万署名の運動が、巨大な力を発揮していることは間違いないと思います。

“9条改憲は絶対に許さない”決意を新年にあたり、お互いに再度固めあおうではありませんか。

12月10日閉会した臨時国会で安倍政権は憲法審査会を強行開会させましたが、自民党改憲案を提出することは断念しました。国民世論の勝利です。



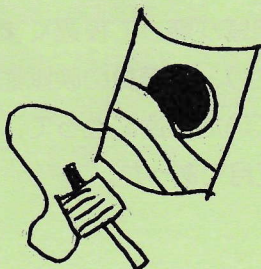
**恒例**

# 風揚げ大会



2月10日(日)午後1時～ (予定)

## 平群中央公園



風をお持ちください。若干数販売もいたします。  
(雨天中止)